

# 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[時刻 ルーティング](#)

[設定](#)

[ネットワーク図](#)

[時刻 ルーティングコンフィギュレーション](#)

[ステップ 1. 時間を作成して下さい](#)

[ステップ 2. 時間表を作成して下さい](#)

[ステップ 3. パーティションに時間表を割り当てて下さい](#)

[ステップ 4. Calling Search Space を作成して下さい](#)

[ステップ 5. 変換パターンを設定して下さい](#)

[確認](#)

[関連情報](#)

## 概要

この資料は Cisco Unified Communications Manager 6.x で時刻 ルーティングに設定 例を提供したものです。時刻 ルーティングは Time Of Day に基づいて異なる場所にコールがなされること呼び出しをルーティングします。

## 前提条件

### 要件

Cisco は Cisco Unified CallManager Administration のナレッジがあることを推奨します。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco Unified Communications Manager 6.x/7.x/8.x
- Cisco IP 電話 7900 シリーズ
- MCS7800 シリーズで動作する Cisco Unified CallManager 6.x/7.x/8.x
- Cisco IOS<sup>®</sup> ソフトウェア リリース 12.4 または それ以降の Cisco 3600 シリーズ ルータ

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

## 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

## 時刻ルーティング

時刻ルーティングはコールが作られる Time Of Day に基づいて異なる場所に呼び出しをルーティングします。たとえば、営業時間の間に、呼び出しはオフィスにルーティング時間後に、呼び出しは音声メッセージシステムまたはホーム数か別の位置に直接行くことができます。

時刻ルーティングが呼び出しで保存するコストをできる現在の時刻に基づいて呼ルーティングパスを制御するのに使用することができます。次に、例を示します。

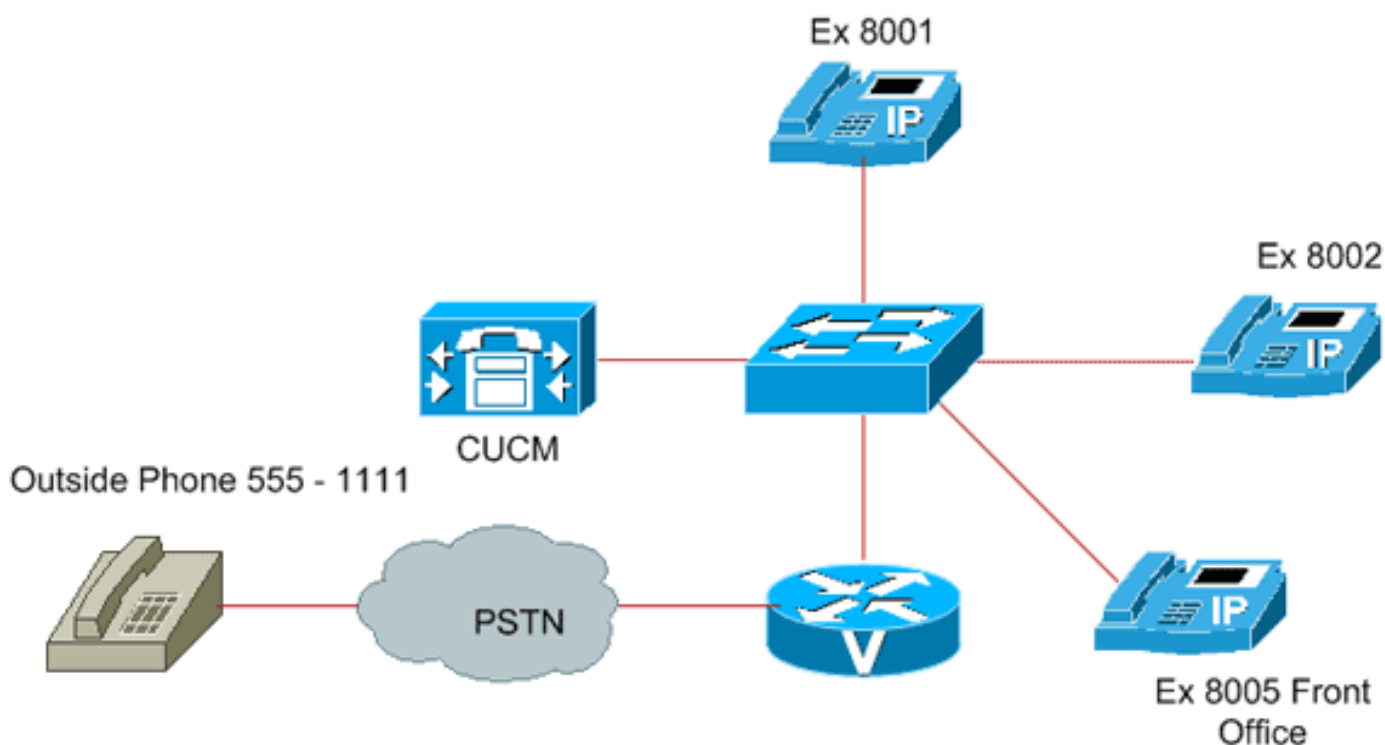
- 営業時間の間のだけ割り当て国際電話のコール。
- 休日のブロック国際電話のコール。
- 非オフィス時間の間に自宅の電話が音声メッセージシステムに外部コールを転換して下さい。

[Cisco Unified Communications Manager のためのワールド・トゥデイ Cisco Unified Communications Manager システムガイドの時刻ルーティングセクション](#)を参照して下さい、詳細については [6.0\(1\)](#) をリリースして下さい。

## 設定

### ネットワーク図

このドキュメントでは、次のネットワーク構成を使用しています。



### 時刻ルーティングコンフィギュレーション

この設定例は Cisco Unified Communications Manager の時刻 ルーティングを設定する方法を示します。Cisco Unified Communications Manager サーバー拡張機能は 8000 - 8999 範囲にあります。

この例では、すべての外部コールは非オフィス時間の中に転換された 8005 フロント・オフィス拡張であり、呼び出しは営業時間の中にそれぞれ拡張に達します。

この設定のための Cisco Unified Communications Manager の時刻 ルーティングを設定するステップはここにあります:

1. [時間を作成して下さい。](#)
2. [時間表を作成し、時間と関連付けて下さい。](#)
3. [パーティションに時間表を割り当てて下さい。](#)
4. [Calling Search Space を作成して下さい。](#)
5. [変換パターンを設定して下さい。](#)

## [ステップ 1.時間を作成して下さい](#)

時間は開始するおよび終了時刻および繰り返し間隔 ( 曜日が規定された日付によって ) 定義される時間 範囲を規定します。この例は全体の週のためのこの 3 時間を作成します:

- *Business\_hrs\_TP* ( 9:00 に 18:00 )
- *Non\_Business\_hrs\_TP1* ( 18:00 に 24:00 )
- *Non\_Business\_hrs\_TP2* ( 24:00 に 9:00 )

時間を作成するためにこれらのステップを完了して下さい:

1. > **コントロール** > **時間のクラス** 『Call Routing』 を選択して下さい。検索およびリスト 時間 ウィンドウは現われます。
2. 新しい時間を追加するために 『Add New』 をクリックして下さい。
3. 時間 情報フィールドで適切な値を入力して下さい。

Time Period Information

Name\* Business\_hrs\_TP

Time Of Day Start\* 09:00

Time of Day End\* 18:00

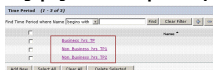
Repeat Every\*  Week from\* Mon through\* Fri

Year on\* None

Save Delete Copy Add New

たとえば期間 ( 9:00 に 18:00 ) が、これらの値を入力する時最初に、設定するため:Name フィールドで時間の名前を入力して下さい。この例は *Business\_hrs\_TP* を使用します。日付開始する ドロップダウン リストの時から 09:00 を選択して下さい。日終わりドロップダウン リストの時から 18:00 を選択して下さい。繰り返しを各オプション ボタンクリックして下さい。月曜日をドロップダウン リストからの週から選択し、次にドロップダウン リストから金曜日を選択して下さい。時間を保存するために 『SAVE』 をクリックして下さい。

4. 期間作成したいと思うたびに 『Add New』 をクリックし、前の手順をのための繰り返して下さい。
5. 時間が正常に作成されたことを確認するために検索時間 オプションを使用して下さい。



## ステップ 2. 時間表を作成して下さい

時間表は時間と関連付けられる明確な時間期間のグループです。それらが設定されれば、時間表  
コンフィギュレーションウィンドウの使用可能時間期間リスト ボックスの時間 ディスプレイ。  
この場合、時間を選択し、指定時間 リスト ボックスに追加できます。

この例は 2 つの時間表を ( *Business\_hrs\_TS* および *Non\_business\_hrs\_TS* ) 作成し、  
*Business\_hrs\_TP* ( 9:00 に 18:00 ) 時間と *Business\_hrs\_TS* 時間表および  
*Non\_Business\_hrs\_TP1* ( 18:00 に 24:00 ) および *Non\_Business\_hrs\_TP2* ( 24:00 に 9:00 ) 時  
間と *Non\_Business\_hrs\_TS* 時間表を関連付けます。

時間表を作成し、時間に割り当てるためにこれらのステップを完了して下さい:

1. > コントロール > 時間表のクラス 『Call Routing』 を選択して下さい。検索およびリスト  
時間表 ウィンドウは現われます。
2. 新しい時間表を追加するために **Add New** ボタンをクリックして下さい。

The screenshot shows a web-based configuration interface. The top section is titled "Time Schedule Information" and contains a text input field labeled "Name\*" with the value "Business\_hrs\_TS". Below this is the "Time Period Information" section, which has two list boxes. The "Available Time Periods" list box contains "Non\_Business\_hrs\_TP1" and "Non\_Business\_hrs\_TP2". The "Selected Time Periods" list box contains "Business\_hrs\_TP". Between the two list boxes are two small downward-pointing arrow icons. To the right of the "Selected Time Periods" list box are two larger downward-pointing arrow icons. At the bottom of the form are four buttons: "Save", "Delete", "Copy", and "Add New".

3. Name フィールドで時間表の名前を入力して下さい。
4. 使用可能時間期間リスト ボックスから指定時間 リスト ボックスに必須時間を移動するのに  
下 矢印を使用して下さい。
5. 変更を保存するために 『SAVE』 をクリックして下さい。
6. *Non\_Business\_hrs\_TS* 時間表を作成するためにこれらのステップを繰り返して下さい。
7. 時間表が正常に作成されたことを確認するために検索時間表 オプションを使用して下さい

The screenshot shows a search results table titled "Time Schedule (1 - 2 of 2)". The table has a search bar at the top with the text "Find Time Schedule where Name begins with" and a dropdown menu. Below the search bar are two buttons: "Find" and "Clear Filter". The table has two columns: a checkbox column and a "Name" column. The first row has a checked checkbox and the name "Business\_hrs\_TS". The second row has an unchecked checkbox and the name "Non\_Business\_hrs\_TS". Below the table are four buttons: "Add New", "Select All", "Clear All", and "Delete Selected".

### ステップ 3.パーティションに時間表を割り当てて下さい

時間表はパーティションに割り当てられるまでアクティブになりません。その時に時間表で規定されるただアクティブであるはずであるパーティションに時間表を割り当てて下さい。パーティションはディレクトリ番号のようなルートパターン、ルートパターンおよび変換パターンのリストが含まれています。

この例は 2 partitions を作成します: *Business\_par* および *Non\_Business\_par*。

( 営業時間の間にアクティブである ) パーティション *Business\_par* *Business\_hrs\_TS* 時間表と *Non\_Business\_hrs\_TS* 時間表と関連付ける必要があります ( 非オフィス時間の間にアクティブである ) *Non\_Business\_par* 関連付ける必要がありません配分しました。

パーティションを作成し、これらのパーティションに時間表を割り当てるためにこれらのステップを完了して下さい:

1. > コントロール > パーティションのクラス 『Call Routing』 を選択して下さい。検索およびリスト パーティション ウィンドウは現われます。
2. 新しい時間パーティションを追加するために 『Add New』 をクリックして下さい。
3. *Business\_par* および *Non\_Business\_par* を配分 情報 リスト ボックスで入力し、次に 『SAVE』 をクリックして下さい。

**Partition Information**

To enter multiple partitions, use one line for each partition entry. You can enter up to 75 partitions; the names and descriptions can have up to a total of 1475 characters. The partition name cannot exceed 50 characters. Use a comma (',') to separate the partition name and description on each line. If a description is not entered, Cisco Unified Communications Manager uses the partition name as the description. For example:  
<< partitionName >> , << description >>  
CiscoPartition, Cisco employee partition  
DallasPartition

Name *
Business_par
Non_Business_par

Save

4. CallManager Server で利用可能なパーティションを取付けるために Find オプションを使用して下さい。

<input type="checkbox"/>	Partition Name ^	
<input type="checkbox"/>	<u>Business_par</u>	Business_par
<input type="checkbox"/>	<u>Non_Business_par</u>	Non_Business_par

5. *Business\_par* チェックボックスをクリックし、時間表 ドロップダウン リストからのこのパーティションに *Business\_hrs\_TS* 時間表を割り当てて下さい。
6. 時間帯を設定し、変更を保存するために 『SAVE』 をクリックして下さい。
7. *Non\_Business\_par* チェックボックスをクリックし、時間表 ドロップダウン リストからのこ

のパーティションに *Non\_Business\_hrs\_TS* 時間表を割り当てて下さい。

- その時間帯と配分を関連付けるために適切な時間時間帯オプション ボタンをクリックして下さい。開始デバイスを選択する場合、システム チェック 呼び出し側のデバイスの時間帯。この時間帯で規定される 特定時間時間帯を選択する場合、システム チェック。
- 変更を保存するために『SAVE』 をクリックして下さい。

**Partition Information**

Name*	Non_Business_par
Description	Non_Business_par
Time Schedule	Non_Business_hrs_TS
Time Zone	<input checked="" type="radio"/> Originating Device <input type="radio"/> Specific Time Zone Greenwich Standard Time

Save Delete Reset Add New

#### ステップ 4. Calling Search Space を作成して下さい

Calling Search Space はコール特権を制限するためにデバイスに一般的に割り当てられるルートパーティションの規則正しく並べられたリストです。Calling Search Spaces は呼び出し側のデバイスが検索 (コールルーティング要求のを含む IP 電話、softphones、ゲートウェイおよび他のどのもとも) できる配分を判別しますコールを完了するように試みるとき。

この例は *CSS1* と指名される Calling Search Space を作成します。

Calling Search Space を作成するためにこれらのステップを完了して下さい:

- > **コントロール > Calling Search Space のクラス** 『Call Routing』 を選択して下さい。
- 『Add New』 をクリックし、Name フィールドで **CSS1** を入力して下さい。
- 利用可能なパーティション リスト ボックスから選択したパーティション リスト ボックスに必須パーティションを移動するのに下 矢印を使用して下さい。

**Calling Search Space Information**

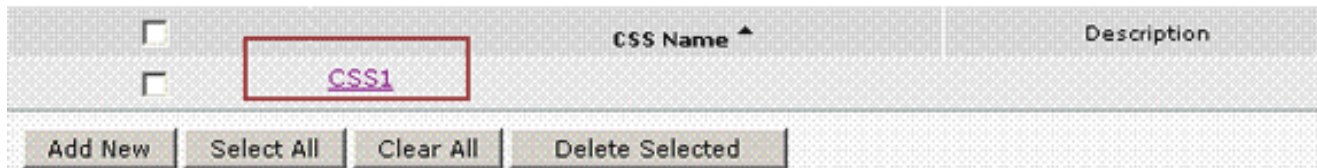
Name*	CSS1
Description	

**Route Partitions for this Calling Search Space**

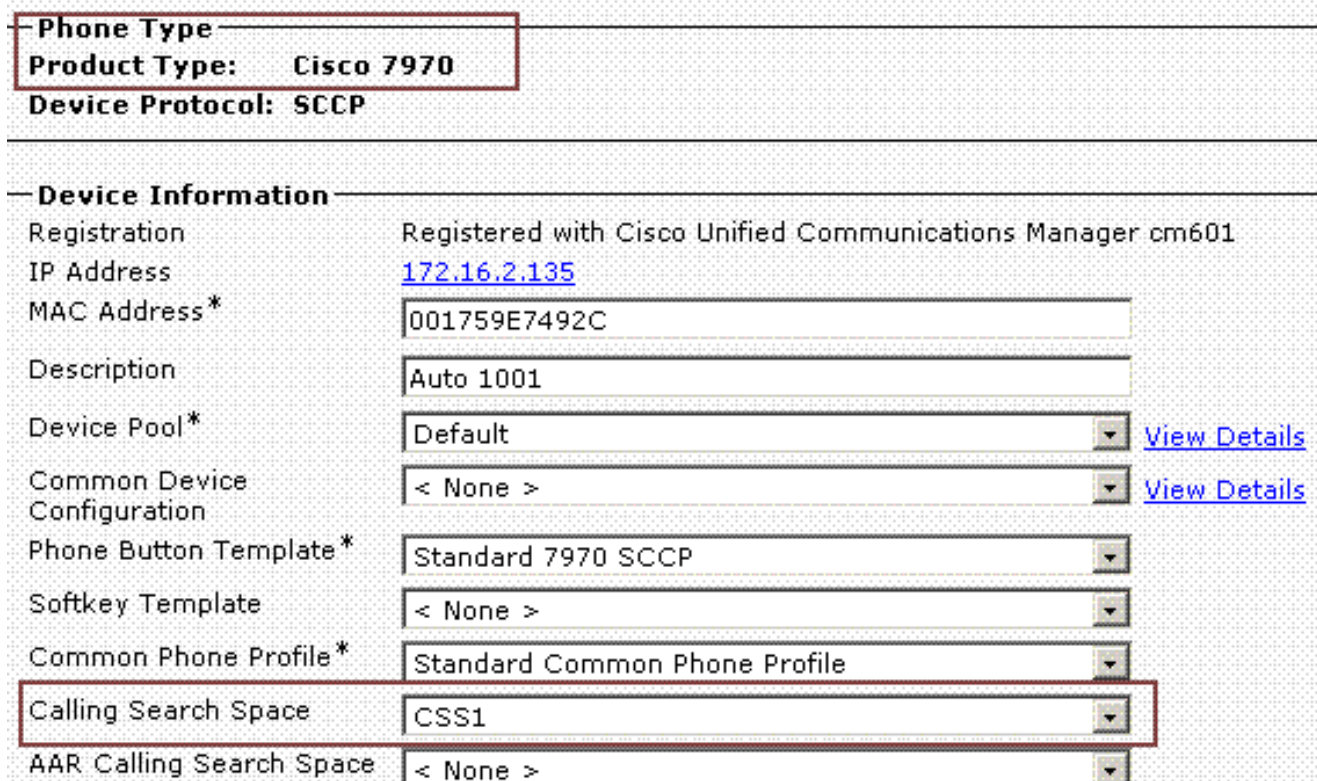
Available Partitions**	Off_hours On_hours
Selected Partitions	Business_par Non_Business_par

Save Delete Copy Add New

- Calling Search Space を保存するために『SAVE』をクリックして下さい。
- Calling Search Space が正常に作成されたことを確認するために Find オプションを使用して下さい。



- 設定のすべての利用可能な IP 電話に CSS1 Calling Search Space を割り当てて下さい。Device > Phone の順に選択して下さい。[Find and List Phones] ウィンドウが表示されます。Cisco Unified Communications Manager ですべての登録済みの IP 電話を見つけるために『Find』をクリックして下さい。各電話に関しては、電話を選択し、Calling Search Space ドロップダウン リストから CSS1 を選択して下さい。

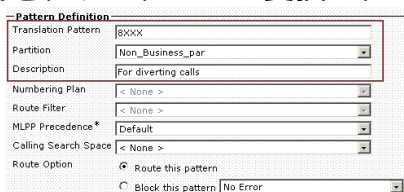


## ステップ 5.変換パターンを設定して下さい

Cisco Unified Communications Manager はそれがコールをルーティングする前にダイヤルされた数字を処理するために変換パターンを使用します。

営業時間の間に非オフィス時間他では呼び出しの間にです転換された 8005 フロント・ オフィス 拡張達しますそれぞれデスクにすべての外部コールのための変換パターンを作成して下さい。

- > 変換パターン 『Call Routing』 を選択して下さい。検索およびリスト 変換パターン ウィンドウは現われます。
- 新しいビジネス以外の時間の間にルーティングコールのための変換パターン ( 8XXX ) を作成するために追加をクリックしこの変換パターンに Non\_business\_par パーティションを割



り当てて下さい。

3. 着呼側変換 Mask フィールドで拡張番号を **8005** 入力して下さい。
4. この変換パターンを保存するために『SAVE』をクリックして下さい。
5. 営業時間の中にルーティングコールのための別の変換パターン (**8XXX**) を作成するために『Add New』をクリックしこの変換パターンにパーティション *Business\_par* を割り当てて

**Pattern Definition**

Translation Pattern	8XXX
Partition	Business_par
Description	Office hours

下さい。

ステップのための着呼側変換 Mask フィールド ブランクを残すことができます。

注 このス

**Called Party Transformations**

Discard Digits	< None >
Called Party Transform Mask	
Prefix Digits (Outgoing Calls)	

6. この変換パターンを保存するために『SAVE』をクリックして下さい。

## 確認

この設定が正しく機能することを確認するために、これらの手順を完了して下さい。

- 営業時間の中に、外部電話から内線の何れかにコールを作して下さい。たとえば、8001。コールは正確な拡張に達する必要があります。
- ビジネス以外の時間の中に、外部電話から内線の何れかにコールを作して下さい。たとえば、8001。コールはフロント・オフィス拡張 8005 に転換する必要があります。

## 関連情報

- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)